

★通常事業評価シート【R7年度実施事業／消防本部救急課による自己評価】

(単位：千円)

No.	事業名	総合計画での位置付け (個別目標)	事業の目的 (誰・何をどのようにするか)	事業の手段 (今年度の主な活動結果)	事業の目的達成に 近づいたか	今後の 方向性	事業費 (決算見込額)	人件費 (参考値)	コスト 合計	事業の課題	今後の改善ポイント	備考
1	救急業務企画調整事業	医療サービスを受ける環境が整うとともに、緊急時にも医療が受けられる状態になっている	泉州地域における救急業務の高度化を図るため救急業務の企画・調整を行う。	会議参加：7回 生涯教育病院実習：66当務 就業前病院研修：2人 挿管実習：5人 学会参加：5人	3：おおむね近づいた	継続	4,600	10,124	14,724	救急業務の高度化を図るために地域医療や他消防機関との連携を継続	地域医療及び地域の他消防機関との連携を密にする。	
2	救急・救命事業	医療サービスを受ける環境が整うとともに、緊急時にも医療が受けられる状態になっている	救命率の向上を図るため、高度な知識と技術が求められる救急医療現場に適正に対処できるようにする。	資機材配備、保守、メンテナンス、備蓄	3：おおむね近づいた	継続	12,311	18,334	30,645	原材料費高騰に伴う資機材等の高騰への対応	物価高騰状況を見て配備やメンテナンスの見直しを検討する。	
3	救急課管理事務事業	持続可能で信頼される行政になっている	課内の円滑な運営を遂行するため、庶務全般を効率的に行う。	救急課業務の円滑な運営を遂行するため、庶務の見直しを検討した。	3：おおむね近づいた	継続	-	12,758	12,758	課内の事務事業等の共有、引継ぎ、及び効率化を推進	課内の事務事業等の共有、引継ぎ及び効率化の検討を継続的に実施する。	
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												

★通常事業評価シート【R7年度実施事業／消防本部救急課による自己評価】

(単位：千円)

No.	事業名	総合計画での位置付け (個別目標)	事業の目的 (誰・何をどのようにするか)	事業の手段 (今年度の主な活動結果)	事業の目的達成に 近づいたか	今後の 方向性	事業費 (決算見込額)	人件費 (参考値)	コスト 合計	事業の課題	今後の改善ポイント	備考
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												